

北区こぼれ話



第5回

陸軍造兵廠の車が飼い犬をひいたら

防衛省の防衛研究所図書館には、旧日本軍に関する様々な公文書が保存されています。その中には、中央図書館や十条駐屯地の土地にあった陸軍造兵廠に関する文書も残されています。かつて、北区では『北区史』編集のために、その調査をおこないました。そこに、ちょっと変わったエピソードが載っていたので、ご紹介しましょう。

時代は大正15年、場所は、陸軍造兵廠近くの道路（中央図書館の近く）です。自転車に乗った主人様（近所に住む畳屋さん）と飼い犬が、一緒に散歩をしていました。交差点にさしかかったときのことです。主人の呼ぶ声に振り返った犬は、後ろからやってきた造兵廠の車にひかれ、可哀想なことに亡くなってしまいました。そして、運転手は、これから陸軍造兵廠に用があることを主人に伝え、その場を立ち去りました。

これが、戦争を題材にしたテレビドラマであれば「国家非常時に犬など!!」と叫ぶ恐れ軍人の登場となったことでしょう。しかし、当時は大正デモクラシーの時代でした。海軍ワシントン軍縮条約の締結（大正11）や、陸軍の宇垣軍縮（大正14・陸軍の師団数を減らす）などを背景に、軍を「無用の長物」と見るような雰囲気があった時代です。

造兵廠は、被害者宅に職員をつかわして、わびを入れたのです。さらに、板橋憲兵隊が事故について調査をしました。その結果、犬の購入価格が15円、埋葬料や獣医謝礼などで、合計36円50銭の損害があったことが判明しました。そこで、造兵廠側は、見舞金10円を飼い主に贈り弔辞を述べました。畳さんが、商売で造兵廠に出入りしていたという縁もあり、この一件は円満に解決したそうです。

同じ陸軍でも、大正時代と第二次世界大戦中では、だいぶ様子が違うようですね。

（防衛研究所所蔵「大正15年度昭和元年度 陸軍造兵廠歴史」参照）

今月の予定

1月の展示 教科書の歴史、北区の歴史

会 期 平成21年1月5日(火)～1月27日(水)

場 所 中央図書館1階 北区の部屋

教科書に書かれている歴史というものは、一見、自分たちとは関係のない何か別世界のことが記されているように思いませんか？実はそんなことはありません。私たちが住んでいる北区の歴史とも深い関係があるのです。

そこで今回の展示では、区内で使われている中学校の歴史教科書の記述をもとに、そのとき北区はどうだったのか、教科書の歴史と北区の歴史がどのように関係しているのかを見ていきたいと思います。これを見れば、歴史が「暗記」科目ではなくなるかもしれませんよ！



地域資料紹介

講演会のお知らせ

図書館活動区民の会企画運営講演会

「紙」と北区の近代産業

～王子は紙のコンビナート～

日時 平成22年2月7日(日)

午後2時～4時

場所 中央図書館3階ホール(定員50名)

※応募方法等詳しくは北区ニュース1月1日号をご覧ください。(1月25日申込〆切)

一不況の今こそ、

日本の近代産業黎明期に学ぼう！！

明治8年に、渋沢栄一が抄紙^{しょうし}会社を設立して以来、王子周辺には紙に関連する様々な産業が発展し近代化に貢献してきました。近代産業の礎を築いてきた「王子」を中心に、「紙」を育て支えてきた人・技術・産業について考えます。

今月は新着地域資料紹介をちょっとお休みして、北区広報課が作成している広報ビデオ(DVD)をご紹介します。北ケーブルTVで放送中の「いい顔きたく」がDVD化されたものを中央図書館でも所蔵しています。それ以前に放送されたものも含めて60巻以上あります。図書館では貸出もしていますので、どうぞご利用ください！

★12月に放送された「^{いちしせいじん}一市井人の日記にみる近代北区史～高木助一郎日記」は、中央図書館「北区の部屋」にある古文書を使って撮影を行いました。

「昭和30年・40年代の北区

～なつかしい昭和の記録」(三冬社)

先日発売されたこの本、もうご覧になりましたか？たくさんの懐かしい写真が満載で、書店でつい手に取ってしまった方も多いのでは？ここで使われた写真の多くは「北区の部屋」で管理していますので、図書館でご覧頂くことができます。

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！！

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

飛鳥山って「王子」?! 「滝野川」?!

北区こぼれ話

第6回

北区で一番の観光スポットといえば飛鳥山。言わずと知れた桜の名所であり、某テレビ番組の「北区と言えば……」ランキングでも堂々1位を獲得しています。では、ここで質問ですが、みなさんは飛鳥山の住所をご存じですか? 正解は北区王子1-1、「滝野川」ではなく「王子」なのです。しかし、よく考えてみれば「滝野川」と「王子」は石神井川を境に別れているはず……なぜ「王子」なのでしょう。実は、これには八代将軍徳川吉宗の植桜政策が深く関わっているのです。

そもそも江戸時代の中頃までは、飛鳥山は滝野川村の領主である旗本・野間家の持ち山でした。したがって飛鳥山も滝野川村の一部だったわけです。ところが、吉宗は飛鳥山に植桜した後、元文2年(1787)には野間家から上知(召し上げること)して石神井川対岸にある金輪寺(当時は北区役所第二庁舎の横にありました)に寄進してしまいました。以後、飛鳥山は金輪寺の持ち山として多くの観桜客を集めることになるのですが、金輪寺は王子村に所在していますから、この寄進によって飛鳥山も王子村の一部となったのです。

その後、明治に至り金輪寺の所領が上知となっても、飛鳥山が王子村の一部であるという認識が動くことはありませんでした。そして、明治、大正、昭和と時代は移り、現在でも飛鳥山は石神井



明治頃の飛鳥山の花見の様子



地図で見ると飛鳥山博物館の辺りまでが王子1丁目、渋谷史料館からは西ヶ原2丁目の住所になっています

川以南で唯一の「王子」として北区に所在しています。何気ない住所一つとっても実は深い歴史があるのです。

(北区の部屋地域資料専門員 保垣孝幸)



向かって右側が江戸時代の金輪寺。左側は王子権現(現在の王子神社)

講演会

「紙」と北区の近代産業
～王子は紙のコンピナート

日時 平成22年2月7日(日) 午後2時～4時

場所 中央図書館 3階ホール

一不況の今こそ、
日本の近代産業黎明期に学ぼう！！

明治8年に、渋沢栄一が抄紙会社を設立して以来、王子周辺には紙に関連する様々な産業が発展し近代化に貢献してきました。近代産業の礎を築いてきた「王子」を中心に、「紙」を育て支えてきた人・技術・産業について考えます。

展示

「王電から荒川線まで」
PART2

会期 平成22年1月29日(金)
～2月24日(水)

場所 中央図書館1階「北区の部屋」

明治44年に大塚－飛鳥山上間が開通し、以来、早稲田・三ノ輪・王子・赤羽を結ぶ庶民の足として親しまれた王電。その主要路線は、今も都電荒川線として東京下町の市井を走り続けています。－11月の展示に引き続き、区民の会企画運営展示の第2弾です！

i 今月の新着地域資料紹介 ※ご紹介しているものはごく一部です。

タイトル	著者・発行者
江戸城 その全容と歴史	西ヶ谷 恭弘/著
江戸の庭園	飛田 範夫/著
鬼がゆく-江戸の華神田祭	木下 直之、福原 敏男/編
神田神保町古書街 2010	毎日新聞社/編
ザ東京銭湯	町田忍/著
東京仏像さんぽ	宮澤 やすみ/著
都営バス完全ガイド	講談社/編
社会福祉の手引き 2009	東京都福祉保健局総務部総務課/編
暮らしととうけい 2009	東京都総務局統計部調整課/編
パートタイム労働ガイドブック 2009	東京都産業労働局雇用就業部労働環境課/編
The Shoten-gai ライフスタイルと街に関する研究	森記念財団/編
岸町一丁目周辺のまちなみを考える	北区まちづくり公社/編
北区の青少年 平成21年度版	北区子ども家庭部子育て支援課/編
北区の図書館 平成21年度	北区立中央図書館/編
東京都北区議会会議録定例会 平成21年第3回	北区議会事務局/編
決算特別委員会会議録 平成21年	北区議会事務局/編
東京都北区補正予算説明書 平成21年度	北区政策経営部財政課/編
指定管理者モニタリング報告 平成21年度	北区政策経営部経営改革担当課/編
日本特殊塗料 80年のあゆみ	日本特殊塗料80年史編纂委員会/編
増上寺 徳川家霊廟	港区立港郷土資料館/編
深川図書館 100年のあゆみ	江東区立深川図書館/編

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています!!

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？ 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

赤羽に住んでいた 「男装の麗人」

北区
こぼれ話
第7回

川島芳子(1907年~1948年?)といえ、男装の麗人・日本軍の女スパイ・悲劇の王女など、様々な言葉で表わされます。彼女は、清朝の王族、^{しやくしんのう}肅親王の第14王女として生まれ、日本で育ち、清朝の復興を目指して満州事変に協力、終戦後に反逆者(漢奸)として中国で処刑されました。その数奇な人生は、様々な小説にえがかれ、テレビドラマになったり、宝塚で上演されたりと、不思議な人気があります。

しかし、川島芳子が、北区に住み、毎日赤羽駅を利用していたことを知る人は、あまり多くないようです。芳子の家は、東京府北豊島郡岩淵町大字稲付の香取神社の近くにありました(現、赤羽面2丁目)。養父でアジア主義者の川島浪速や、その妻とともに、ここに住み、小学生時代を過ごしました。

川島芳子や川島邸のことは、石川倫さんの『あかばね昔語り』(近代文藝社、1988年)に詳しく書かれています。石川さんによれば、この地に川島芳子が住み始めたのは、大正4年頃だそうです。そして、川島芳子の遊び相手を頼まれたのが、近所の商店の娘だった石川さんでした。二人は、よく歌をうたい、オルガン、お手玉、まり、竹馬などで遊んだといいます。当時、小学生だった芳子は、地元の小学校ではなく、池袋のほうにあった豊島師範学校附属小学校に通学していました。芳子には、専用の運転手と豪華な自動車がありましたが、校則により通学に利用することではなく、赤羽駅から鉄道で通っていたそうです。



『あかばね昔語り』は、中央・赤羽・浮間・赤羽西・昭和町・田端・赤羽北・東田端・滝野川西図書館で所蔵しています。

北区の図書館で所蔵している川島芳子に関する図書

また、髪を洗うときは、自宅の風呂を使わず、赤羽駅に隣接していた銭湯「亀の湯」を利用したそうです。近所の商店へも、養母と一緒に、よく買い物に来ていたといいます。

王女様として生まれた川島芳子でしたが、赤羽に住んでいた頃には、意外に庶民的なところがあったようです。

(北区の部屋地域資料専門員
黒川 徳男)

この本は、中央図書館でも資料探しのお手伝いをしました。

タイトル	著者
女たちが経験したこと(「男装の麗人・川島芳子伝」)	上坂 冬子
満洲とは何だったのか	能沢 寿彦
妖花 川島芳子伝	樫本 捨三
男装の麗人・川島芳子伝	上坂 冬子
川島芳子(信濃の伝記シリーズ 1)	大坪 かず子
愛新覚羅王女の悲劇~川島芳子の謎	太田 尚樹
真実の川島芳子~秘められたる二百首の詩歌	川島 芳子
清朝十四王女~川島芳子の生涯~	林 えり子
午後おそい客(「川島芳子」)	田中 澄江
人物日本史 昭和(「川島芳子」)	田辺 聖子
評伝川島芳子~男装のエトランゼ~	寺尾 紗穂

講演会

公開歴史講座

川とともに生きる

～江戸時代の石神井川と地域の村々～

地域の人々に多大なる恩恵と脅威を与え続けてきた江戸時代の石神井川について、古文書などの資料を使って専門家がわかりやすくお話しします。

日 時 平成22年3月14日(日)
午後2時～4時

場 所 中央図書館 3階ホール

講 師 北区の部屋地域資料専門員
保垣 孝幸

あのことろ赤羽駅は

～写真が語る駅の昭和史～

東京の北の玄関口というと、上野駅を連想します。しかし、宇都宮線や高崎線の上り電車が最初に停車する東京の駅は赤羽駅です。そして、池袋や新宿方面に向かう乗客の多くは赤羽駅で、埼京線に乗り換えます。赤羽駅こそが、東京の北の玄関口を名のべきでしょう(新幹線が停車しないので、軒先かもしれませんが)。そんな赤羽駅は、戦後何度となく大きな変化をとげ、それは現在も続いています。通学の邪魔だった「開かずの踏切」や京浜東北線だけが特別扱いに見えた高架線路、そして、今はなき跨線橋など、懐かしい写真をご覧下さい。駅員さんが、硬券切符を手で売り、改札で職人芸のようにハサミを入れていたころ、そして、まだ赤羽線という名の路線があったころ。読書の合間に一息入れて、あのことろの赤羽駅の雰囲気懐かしんでみませんか？

展 示

新着地域資料紹介

タイトル	著者・出版社
「昭和10年全国商店街調査資料」(復刻版)第4巻～7巻 ※十条銀座の調査結果が掲載されています	不二出版/編
『町会』『町と生活』(復刻版)第1巻～11巻	不二出版/編
東京立ち飲み案内 ※王子・赤羽の立ち飲み屋が	吉田 類/著
江戸東京野菜<物語編>/<図鑑編> ※滝野川ひょうと滝野川人参について載っています。	大竹 道茂/著
語り継ぐまちづくり 東十条一・二丁目	北区まちづくり公社/編
からだをなおす◆くすりでおなおす -王子の万能妙薬と江戸・明治くすり事情-【企画展図録】	飛鳥山博物館/編
北区財政の現状と課題 平成21年12月	北区政策経営部財政課/編
北区民大学100期のあゆみ	北区生涯学習推進課/編
滝野川教会百年史 <本編><資料編>	日本基督教団滝野川協会/編
東京都北区議会会議録定例会 平成21年第4回	北区議会事務局/編
元気な高齢者が暮らしやすいまち～23区比較～	森記念財団/編
東京出張 ～これって関西にはないよなあ…から入る店選び。	永浜 敬子/著
歩く東京 <中央線>/<千代田線>/<大江戸線>	樫出版社/編
東京フチ修行ガイド-思い立ったらすぐできる!!	東京地図出版/編
吉原史話/続吉原史話	市川 小太夫/著
東京洞窟厳選100-穴があったら入りたい!!	中野 純/著
東京発掘物語-遺跡発掘レポート	里山 春樹/著
足立区立郷土博物館常設展示図録	足立区立郷土博物館/編
練馬区子ども読書活動推進計画(第二次)	光が丘図書館/編

中央図書館
北区の部屋では
北区の歴史に
関わる資料を
探しています!!

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか?中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

「北区の部屋だより」

(北区の部屋地域資料専門員 保垣孝幸)



岡野友彦『家康はなぜ江戸を選んだか』（教育出版、1999年）※浮間・滝西・豊島の各図書館に地域資料として架蔵されています。



会期 平成22年4月1日(木)～4月21日(水)

江戸時代から庶民に愛され続けてきた桜の名所、「上野の山」と「飛鳥山」。現在でも、東京屈指のお花見スポットとして、多くの花見客を集めています。実はこの両所、ともに桜の名所でありながらその成立経緯や花見の仕方など、詳しくみればそれぞれの特徴が見えてきます。江戸時代から現在まで、歴史を紐解きながら、上野と飛鳥山の花見の様子を比べてみたいと思います。あなたは「上野」派？それとも「飛鳥山」派？

中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひ一報ください。

中央図書館
北区の部屋 では
北区の歴史に
関する資料を
探してみよう!!

皆さんのお宅に、北区に関する古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？

新着地域資料紹介

タイトル	著者・出版社
江戸・東京通物語	林 えりこ/著
江戸切絵図今昔散歩	新人物往来社/編
東京「風景印」散歩 365 日	古沢 保/著
東京遊び地図	昭文社/編
東京オブジェ～人と歴史をさがしに～	大川 渉/著
東京角打ち～立ち呑み百景～	笠倉出版/発行
東京都屋外広告物条例の解説<改訂 11 版>	東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課/監修
東京都の温室効果ガス規制と排出量取引<都条例逐条解説>	小沢 英明ほか/著
東京昼めし 500 円系	昼めしを美味しく食べよう会/編
東京安うま飯ランキング・メシランⅡ～路地裏の名店	講談社/発行
ゆるゆるランニングMAP@東京	東京地図出版/発行
芥川龍之介の書画	日本近代文学館/編
現代語訳 論語と算盤	洪沢 栄一/著
小劇場ワンダーランド	ぴあ/発行
東京都北区赤羽 1～3	清野 とおる/著
税務概要 平成 21 年度	北区区民部税務課/編
予算の概要 平成 22 年度	北区政策経営部財政課/編
北区財政の現状と課題 平成 21 年 12 月	北区政策経営部財政課/編
北区予算案の特徴 平成 22 年度	北区政策経営部財政課/編

北区の郵便局の風景印も

平澤かまぼこ
王子駅前店
掲載

つかこうへい、
王子小劇場も

あなたの知らない
赤羽!?

地域資料はあまり利用されないというイメージがありますが、「いざ」というときにその真価を発揮します。『わたしの便利帳』（1978～所蔵）や『北区ニュース』（第1号～所蔵）などは役所から問い合わせが来ることもあります。また、古い写真（約3万点）や古い地図（約450点）に対する問い合わせも多く、地域資料の中でも利用が多い資料の一つです。古文書（約4万点）や和装本（約450点）のような、普段あまり目にするものがない資料も揃っているのが「北区の部屋」の特色の一つです。これらの資料を駆使して、地域資料専門員が質問に答えてくれますので、みなさんも気軽に利用してくださいね！



北区こぼれ話 第9回

石神井川から手榴弾発見！

～北区にとっての5・15事件～

五月晴れの空の下、石神井川しゅりゅうだんの音無橋付近から手榴弾が発見されました。といっても、昭和7年（1932）5月24日のことです。その日、石神井川は石ぜきで流れを止められ、ポンプ車三台によって水が吸い上げられました。（「高木助一郎日記」北区の部屋にて公開）。発見された手榴弾は、ある大事件の証拠品でした。大事件とは、その9日前に起きた5・15事件のことです。海軍の青年将校たちが決起し、首相官邸で、犬養毅総理大臣を殺害したことなどで知られています。「話せばわかる」「問答無用！」という会話が合ったとか、なかったとかで、たまにテレビで取り上げられることがあります。

5・15事件というと、一見、北区とは無関係のようですが、よく調べてみると、関わりがあるのです。5・15事件で襲われたのは、首相官邸や政府要人だけではありません。東京周辺にあった変電所も襲撃対象になりました。東京電燈株式会社の田端・鳩ヶ谷・淀橋・亀戸・目白の各変電所と、尾久にあった鬼怒川水力電気の東京変電所です。

高木助一郎日記の一部

「高木助一郎日記」の一部

変電所を襲ったのは、茨城県の青年たちが結成した「農民決死隊」でした。彼らは変電所の電気を止め、東京を大停電の混乱状態にした上で、クーデターを執行しようと計画したのです。しかし、実際のところ、各変電所では、機械の一部を壊されただけで、送電をストップするには至りませんでした。

石神井川で見つかった手榴弾は、この農民決死隊の一人が持っていた物でした。彼は、5月15日の夕方、王子電車の梶原停留所で下車し、田端変電所へ向かいました。そして、持参したハンマーで電圧メーターを壊したものの、人の気配がしたため、その場を立ち去りました。手榴弾を使おうと思い直し、再び変電所に引き返したところ、警戒が厳しかったため、断念して逃げたそうです。

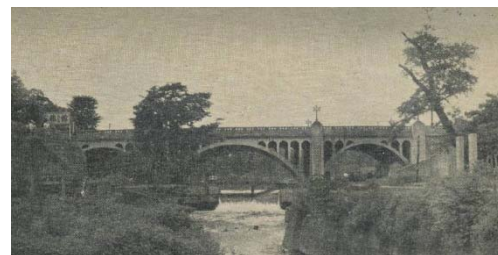


5・15 事件を伝える『東京朝日新聞』号外

明治通りでタクシーに乗り、飛鳥山まで来たところで警察に止められ、彼は下車しました。そして、手榴弾を石神井川へ捨て、さらに逃走したということが検察の尋問調書に書かれています。

（『検察秘録五・一五事件Ⅱ 匂坂資料2』角川書店）

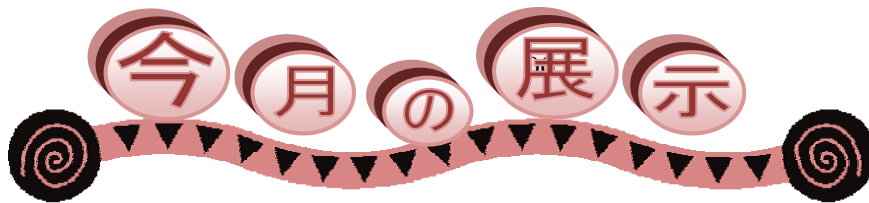
このように、東京の周辺部に位置する北区は、都心とは異なった形で、歴史的事件に関わっていたのです。



音無橋と石ぜき 昭和20年代（『北区史』）

北区で所蔵している犬養毅及び5. 15事件に関する図書

タイトル	著 者	出 版 社
犬養毅 党派に殉ぜず、国家に殉ず	小林 惟司	ミネルヴァ書房
テロとユートピア 五・一五事件と橋孝三郎	長山 靖生	新潮社
日本宰相列伝 13 犬養毅	岩淵 辰雄	時事通信社
歴代総理大臣伝記叢書 20 犬養毅	鶴崎 熊吉	ゆまに書房
父の映像	犬養 健ほか	筑摩書房
明治期の犬養毅	時任 英人	芙蓉書房出版
犬養毅 リベラリズムとナショナリズムの相剋	時任 英人	論創社



会期 平成22年4月23日(金)～5月26日(水)

明治の青年が見た北区 - 「高木助一郎日記」のさし絵 -

今回の展示では、明治時代に描かれた「高木助一郎日記」のさし絵をパネルで紹介いたします。この日記は、中十条に住んでいた高木助一郎さん（故人）が明治41年（1908）から昭和22年（1947）まで、約40年間に渡って、ほぼ毎日つけていたものです。内容は身近なことから王子町役場職員としての見聞まで、とても盛りだくさんで、様々なさし絵を含む貴重な資料です。

なお、北区の部屋では、常時、複写本を公開しています。



古文書入門講座

「古文書にみる江戸時代の北区」

北区の古文書を題材に、くずし字の調べ方など初歩の解説を演習形式で行います。

日時：平成22年5月8日(土)～6月12日(土)

毎週土曜 計6回

場所：中央図書館 3階ホール

講師：北区の部屋地域資料専門員

保垣 孝幸

（なお、講座参加募集は終了しています）

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！

皆さんの自宅に、北区
に関わる古い写真や地
図・文書などは眠ってい
ませんか？
中央図書館「北区の部屋」では、このよ
うな資料を地域資料として収集していま
す。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和
の資料も地域を知るための大変貴重な資
料となりますので、ぜひ一報ください。